



岡山市町村総合事務組合職員給与条例の一部を改正する条例（平成 26 年岡山市町村総合事務組合条例第 3 号）をここに公布する。

平成 26 年 3 月 26 日

岡山市町村総合事務組合管理者 河島 建



岡山市町村総合事務組合職員給与条例の一部を改正する条例

岡山市町村総合事務組合職員給与条例（平成 17 年岡山市町村総合事務組合条例第 15 号）の一部を次のように改正する。

第 13 条第 1 項第 1 号中「通勤のため交通機関」を「通勤のため交通機関又は有料道路（以下、この条において「交通機関等」という。）」に改め、「その運賃」の次に「又は料金（以下、この条において「運賃等」という。）」を加え、同条第 2 項に次の 1 号を加える。

- (3) 前項第 3 号に掲げる職員 交通機関等を利用せず、かつ、自動車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離、交通機関等の利用距離、自動車等の使用距離等の事情を考慮して管理者が定める区分に応じ、前 2 号に定める額（1 箇月当たりの運賃等相当額及び前号に定める額の合計額が 58,000 円を超えるときは、その者の通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間につき、当該合計額と 58,000 円との差額の 2 分の 1 を 58,000 円に加算した額に当該支給単位期間の月数を乗じて得た額）、第 1 号に定める額又は前号に定める額

附 則

この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

岡山県市町村総合事務組合職員給与条例の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(通勤手当)</p> <p>第13条 通勤手当は、次に掲げる職員に支給する。</p> <p>(1) <u>通勤のため交通機関又は有料道路（以下、この条において「交通機関等」という。）</u>を利用してその運賃又は料金（以下、この条において「運賃等」という。）を負担することを常例とする職員（交通機関を利用しなければ通勤することが著しく困難である職員以外の職員であって、交通機関を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるもの及び第3号に掲げる職員を除く。）</p> <p>(2)・(3) 略</p> <p>2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める額とする。</p> <p>(1)・(2) 略</p> <p>(3) 前項第3号に掲げる職員 <u>交通機関等を利用せず、かつ、自動車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離、交通機関等の利用距離、自動車等の使用距離等の事情を考慮して管理者が定める区分に応じ、前2号に定める額（1箇月当たりの運賃等相当額及び前号に定める額の合計額が58,000円を超えるときは、その者の通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間につき、当該合計額と58,000円との差額の2分の1を58,000円に加算した額に当該支給単位期間の月数を乗じて得た額）、第1号に定める額又は前号に定める額</u></p> <p>3～10 略</p>	<p>(通勤手当)</p> <p>第13条 通勤手当は、次に掲げる職員に支給する。</p> <p>(1) <u>通勤のため交通機関</u>を利用してその運賃を負担することを常例とする職員（交通機関を利用しなければ通勤することが著しく困難である職員以外の職員であって、交通機関を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離が片道2キロメートル未満であるもの及び第3号に掲げる職員を除く。）</p> <p>(2)・(3) 略</p> <p>2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める額とする。</p> <p>(1)・(2) 略</p> <p>3～10 略</p>